



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06139248 A**(43) Date of publication of application: **20 . 05 . 94**

(51) Int. Cl.

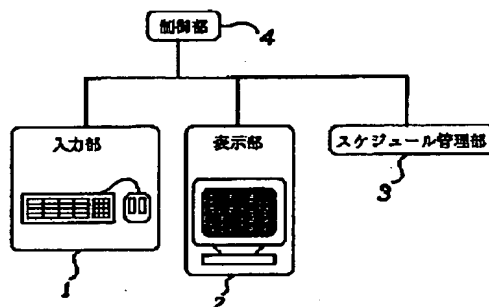
**G06F 15/21
G06F 15/02**(21) Application number: **04288805**(22) Date of filing: **27 . 10 . 92**(71) Applicant: **SANYO ELECTRIC CO LTD**(72) Inventor: **KIDO KAZUTAKA
NISHIKAWA YOICHIRO**(54) **SCHEDULE INFORMATION CONTROL SYSTEM**

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To eliminate troublesome adjusting operation wherein a free time zone is searched for each time a schedule is changed and to improve the operability by inputting a date and time change candidate and its priority level together with schedule information.

CONSTITUTION: At an input part 1, 1st schedule information, its date and time change candidate, and its priority level are inputted, and they are registered in a schedule control part 3. Then 2nd schedule information different from the 1st schedule information is inputted. When the date and time of the 2nd schedule overlap with the date and time of the 1st schedule information, the schedule control part 3 changes the schedule information of lower priority level to the date and time of the change candidate corresponding to the schedule information and registers the schedule information of high priority level. When the date and time of the 2nd schedule information do not overlap with the date and time of the 1st schedule information, on the other hand, the 2nd schedule information is registered.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-139248

(43)公開日 平成6年(1994)5月20日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 15/21
15/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

L 7052-5L

3 5 5 A 7343-5L

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 9 頁)

(21)出願番号

特願平4-288805

(22)出願日

平成4年(1992)10月27日

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72)発明者 木戸 一隆

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋
電機株式会社内

(72)発明者 西川 洋一郎

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋
電機株式会社内

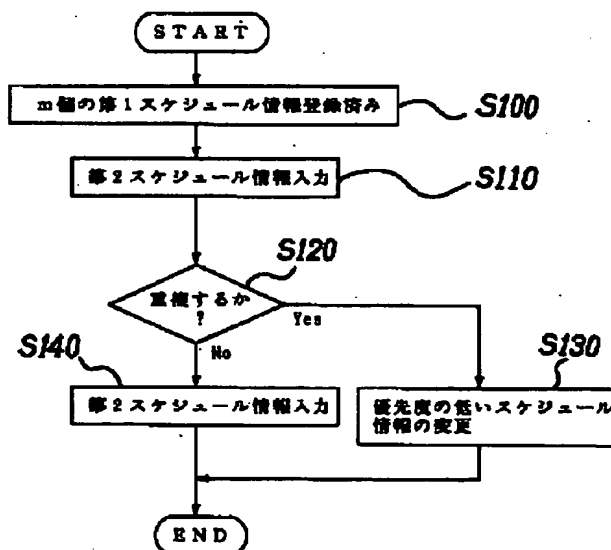
(74)代理人 弁理士 西野 卓嗣

(54)【発明の名称】 スケジュール情報管理システム

(57)【要約】

【目的】 本発明は、スケジュールの入力の際にスケジュールの内容に応じた優先度を付けると共にそのスケジュールの変更可能な日時候補をも入力することによって、スケジュールの変更が生じた際であっても、その変更の際に空き時間帯を捜すような複雑な調整作業を行なう必要がないスケジュール情報管理システムを提供することを目的とする。

【構成】 本発明は、少なくともスケジュール情報、該スケジュール情報の日時変更候補、及び上記スケジュール情報の優先度の入力を行う入力部と、該入力部によって入力されたスケジュール情報を表示する表示部と、上記スケジュール情報を格納・管理するスケジュール管理部と、上記入力部、表示部、及びスケジュール管理部を統括制御する制御部と、を具備することを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくともスケジュール情報、該スケジュール情報の日時変更候補、及び上記スケジュール情報の優先度の入力を行う入力部と、該入力部によって入力されたスケジュール情報を表示する表示部と、上記スケジュール情報を格納・管理するスケジュール管理部と、上記入力部、表示部、及びスケジュール管理部を統括制御する制御部と、を具備するスケジュール情報管理システムにおいて、

m個（mは自然数）の第1スケジュール情報を上記スケジュール管理部へ登録した後、上記第1スケジュールと別の第2スケジュール情報の入力に際して、上記m個の第1スケジュールと第2のスケジュールとの日時の一部、又は全部が重複する場合、上記スケジュール管理部は、m個の第1スケジュール情報、及び第2スケジュール情報の互いの優先度を比較し、優先度の低いスケジュール情報を該スケジュールの変更候補の日時に変更し登録したことを特徴とするスケジュール情報管理システム。

【請求項2】 上記第1スケジュール情報と第2スケジュール情報との優先度が同一である場合には、上記表示部にその旨を表示したことを特徴とする請求項1記載のスケジュール情報管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、個人、又は団体等のスケジュール情報の管理を行なう機能を具備するスケジュール情報管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、個人のスケジュールを管理するシステムが、特開平4-119460号公報に開示されている。

【0003】 このシステムは、定期スケジュールの如き、毎週同一曜日の同一時刻に同一内容のスケジュールを入力した後に、それらのスケジュールを格納・管理するものである。

【0004】 具体的には、定期スケジュールを一旦上記システムに登録した後、そのスケジュールを変更する場合、1件1件毎ではなく、一括して定期スケジュールの変更等の編集処理ができるように構成されている。

【0005】 しかし乍ら、上述のシステムにあっては、毎週同一曜日の同一時刻に同一内容の定期スケジュールの一括編集ができるだけであり、個々のスケジュールに変更が生じた場合には、一々空いている時間帯を捜してスケジュール調整を行なう必要があった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上述の問題に鑑み成されたものであり、スケジュールの入力の際にそのスケジュールの内容に応じた優先度を付けると共に、そのスケジュールの変更可能な日時候補をも入力す

2

ることによって、スケジュールの変更が生じた場合であっても、その変更の際に一々空き時間帯を捜すような複雑な調整作業を行なう必要がなく、操作性の向上したスケジュール情報管理システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明は、少なくともスケジュール情報、該スケジュール情報の日時変更候補、及び上記スケジュール情報の優先度の入力を行う入力部と、該入力部によって入力されたスケジュール情報を表示する表示部と、上記スケジュール情報を格納・管理するスケジュール管理部と、上記入力部、表示部、及びスケジュール管理部を統括制御する制御部と、を具備するスケジュール情報管理システムにおいて、m個（mは自然数）の第1スケジュール情報を上記スケジュール管理部へ登録した後、上記第1スケジュールと別の第2スケジュール情報の入力に際して、上記m個の第1スケジュールと第2のスケジュールとの日時の一部、又は全部が重複する場合、上記スケジュール管理部は、m個の第1スケジュール情報、及び第2スケジュール情報の互いの優先度を比較し、優先度の低いスケジュール情報を該スケジュールの変更候補の日時に変更し登録したことを特徴とする。

【0008】

【作用】 少なくともスケジュール情報、該スケジュール情報の日時変更候補、及び上記スケジュール情報の優先度の入力を行なう構成にし、スケジュール情報の入力後、互いのスケジュールの日時が重複する場合には、スケジュール管理部が、スケジュールの優先度を比較し、優先度の低いスケジュール情報を該スケジュールの変更候補の日時に変更し登録する。

【0009】

【実施例】 本発明の実施例を図1乃至図8に基づいて説明する。

【0010】 図1は、本発明のスケジュール情報管理システムのブロック図を示し、同図において、1はスケジュール情報をキーボード、マウス等によって入力する入力部、2は入力部1によって入力されたスケジュール情報を表示する液晶、CRT等からなる表示部、3は入力部1によって入力されたスケジュール情報を格納すると共に、それらのスケジュール情報を管理するスケジュール管理部、4は入力部1、表示部2、スケジュール管理部3を統括制御する制御部である。

【0011】 一方、図2は、表示部2の画面図であり、この画面図の枠で囲まれた空白内に入力部1によってスケジュール情報の項目の入力を行なうことが可能であり、本発明でのスケジュール情報の入力項目は、優先度、日時、内容、変更可能日時を対象としている。

【0012】 尚、スケジュール情報の優先度は、優先的にスケジュールを実行する度合いに従って4段階に区別

しており、例えばスケジュールの変更、及びスケジュールの取り止めが共に不可の場合を優先度1とし、またスケジュールの変更が可であるが、スケジュールの取り止めが不可である場合を優先度2とし、優先度3以下については、

【0013】

【表1】

優先度	スケジュールの変更	スケジュールの取り止め
1	不可	不可
2	可	不可
3	不可	可
4	可	可

【0014】の如く設定することとし、但し優先度が2、又は4の場合には、スケジュールの変更のおそれがあるため、この優先度と共に変更日時の候補を入力するようにしてある。

【0015】図3は、スケジュール管理部3が、1992年6月16日にスケジュールA、及びこのスケジュールAの変更候補を樹系列的に格納している状態を示している。

【0016】斯る構成において、本発明の概略動作を図4のフローチャートに示す。

【0017】まず、ステップS100において、m個(mは自然数)の第1スケジュール情報を入力する。ステップS110において、第1スケジュール情報と別の第2スケジュール情報を入力する。ステップS120において、ステップS110にて入力した第2スケジュール情報の日時が、第1スケジュール情報のそれと重複する場合には、ステップS130に進んで、スケジュール管理部3が優先度の低いスケジュール情報を、そのスケジュール情報に対応する変更候補の日時に変更し、優先度の高いスケジュール情報を登録する。また、第2スケジュール情報の日時が第1スケジュール情報のそれと重複しない場合には、ステップS140に進んで、第2スケジュール情報を登録する。

【0018】斯る構成において、図5乃至図8のフローチャートに基づいて、本発明のスケジュール情報管理システムの具体的な動作を説明する。

【0019】ここで、スケジュールAとは、既登録された第1スケジュール情報であり、またスケジュールBとは、これから入力しようとする第2スケジュール情報である。

【0020】まず、図5のステップS1において、新たに入力しようとするスケジュールBの入力を、表示部2を参照しながら入力部1を用いて行なう。ステップS2において、スケジュールBが登録済みのスケジュールA

と時間的に重複しなければ、ステップS3に進んで、そのスケジュールBを登録し、一方重複すれば、ステップS4に進む。ステップS4において、スケジュールAとスケジュールBとの優先度を比較し、スケジュールBの優先度が高ければ、ステップHにジャンプし、一方スケジュールBの優先度が高くなければ、ステップS5に進む。

【0021】ステップS5において、スケジュールAとスケジュールBとの優先度を比較し、それらの優先度が同じであれば、ステップIにジャンプし、一方それらの優先度が同じでなければステップS6に進む。ステップS6において、スケジュールAの優先度がスケジュールBのそれより高ければ、ステップS7に進んで、スケジュールBの再登録を行った後、スケジュールS1に戻り、一方スケジュールAの優先度がスケジュールBのそれより高くなければ、終了する。

【0022】次に、図6のステップHからジャンプしたステップS8において、スケジュールAの優先度が2、又は4であるかをスケジュール管理部3が判別し、それに該当すればステップS9に進み、一方スケジュールAの優先度が2、又は4に該当しなければ、ステップS15に進む。ステップS9において、表示部2にてスケジュールAの確認をした後、ステップS10に進む。ステップS10において、スケジュール管理部3はスケジュールAの変更候補を参照して、変更候補を表示部2に表示し、ユーザからの指示があれば、スケジュールAを変更候補の日時にスケジュールを変更した後、ステップS11に進む。

【0023】ステップS11において、スケジュールAの変更候補を削除した後、ステップS12に進む。ステップS12において、スケジュールAの変更候補がなくなれば、ステップS14に進み、一方スケジュールAの変更候補がなくなれば、ステップS13に進む。

【0024】ステップS13において、スケジュール管理部3はスケジュールAの優先度を上位の優先度に変更するか、又はユーザはスケジュールAの変更候補を入力作成する。ステップS14において、スケジュールBを登録する。

【0025】ステップS15において、スケジュールAの優先度が3でなければ終了し、一方スケジュールAの優先度が3であれば、ステップS16に進む。ステップS16において、スケジュールAの取り止めを確認した後、ステップS17に進む。ステップS17において、スケジュールAを削除した後、ステップS14に進む。

【0026】更に、図7のステップIからジャンプしたステップS18において、スケジュールAの優先度が1であるか否かをスケジュール管理部3が判別し、そのスケジュールの優先度が1であれば、ステップS19に進み、一方そのスケジュールの優先度が1でなければ、ステップS20に進む。ステップS19において、スケジ

ジュール管理部3は、スケジュールAとスケジュールBとが重複することをユーザに告知し、これを受けてユーザはスケジュールA、又はスケジュールBのうちどちらかを選択して日時を変更した後、終了する。

【0027】ステップS20において、スケジュールAの優先度が2、又は4であるか否かをスケジュール管理部3が判別し、それに該当すればステップS21に進み、一方該当しなければ、ステップS23に進む。ステップS21において、スケジュールA、及びスケジュールBの変更を確認し、ユーザはスケジュールA、又はスケジュールBを選択し、ステップS22に進む。ステップS22において、スケジュールAの変更を行うのであれば、ステップS9に戻り、一方スケジュールAの変更を行わないのであれば、ステップS26に進む。ステップS26において、スケジュールBの再登録を指示し、ユーザはこれに応じてスケジュールBの登録を行なった後、開始に戻る。

【0028】ステップS23において、スケジュールAの優先度が3であるか否かをスケジュール管理部3が判別した後、ステップS24に進み、一方そのスケジュールの優先度が3でなければ、終了する。ステップS24において、スケジュールA、又はスケジュールBの取り止めを確認し、ユーザはスケジュールA、又はスケジュールBを選択し、ステップS25に進む。ステップS25において、スケジュールAの取り止めを行うのであれば、ステップS16に戻り、一方スケジュールAの取り止めを行わないのであれば、ステップS26に進む。

【0029】以上が、本発明の具体的な動作説明であり、上述の図5及び図6のフローチャートを用いて、図3に示すように6月16日10:00~11:30に優先度2のスケジュールA、及び6月18日16:00~17:30にスケジュールAの変更候補が登録されており、この状況から新たに6月16日10:00~12:00に優先度1のスケジュールBを組み込む動作を説明する。尚、図5乃至図7の太線がその動作の軌跡を示している。

【0030】図5のステップS1において、6月16日10:00~12:00に優先度1のスケジュールBの入力を行う。ステップS2において、スケジュール管理部3はスケジュールの日時に関する重複があるか否かを判別し、この場合スケジュールAとスケジュールBとは時間的に重複しているので、ステップS4に進む。ステップS4において、スケジュールAとスケジュールBとの優先度を比較すると、この場合スケジュールBの優先度が高いので、ステップHにジャンプする。

【0031】ステップHからジャンプしたステップS8において、スケジュール管理部3はスケジュールAの優先度が2、又は4であるか否かを判別し、この場合スケジュールAの優先度は2であるので、ステップS9に進む。ステップS9において、スケジュールAを確認した

後、ステップS10に進む。

【0032】ステップS10において、スケジュールAの変更候補を参照して、その変更候補の日時にスケジュールを変更し、ステップS11に進む。ステップS11において、スケジュールAの変更候補を削除した後、ステップS12に進む。ステップS12において、スケジュールAの変更候補がなくなったので、ステップS13に進む。

【0033】ステップS13において、スケジュール管理部3はスケジュールAの優先度を1に変更した後、ステップS14に進み、スケジュールBの登録を行なうことによって、最終的に図3のスケジュールは図8のように変更され一連の動作が終了する。

【0034】尚、上述の実施例にあってはスケジュールAの変更候補を1つだけ設定したが、これには限られず2以上の変更候補を設定してもよい。

【0035】また、既登録したスケジュール情報もスケジュールAの1個に限って説明したが、これには限られず、複数のスケジュール情報を予め登録しておいてもよいことはいふまでもない。

【0036】

【発明の効果】本発明によれば、スケジュール情報の入力に際して、少なくともスケジュール情報、該スケジュール情報の日時変更候補、及び上記スケジュール情報の優先度の入力を行うようにしたので、登録後に新たな別のスケジュール情報を入力する場合でも、スケジュール管理部は、スケジュール情報の優先度の比較に従って、優先度の低いスケジュール情報を該変更候補の日時に変更することができる。

【0037】この結果、スケジュールの変更が生じた際であっても、その変更の際に空き時間帯を捜すような複雑な調整作業を行なう必要がなくなり、ユーザの操作性は向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のスケジュール情報管理システムのブロック図

【図2】本発明のスケジュール情報管理システムの表示部2の画面図

【図3】本発明のスケジュール情報管理システムのスケジュール情報の格納状態図

【図4】本発明のスケジュール情報管理システムの概略動作を示すフローチャート

【図5】本発明のスケジュール情報管理システムのフローチャート

【図6】本発明のスケジュール情報管理システムのフローチャート

【図7】本発明のスケジュール情報管理システムのフローチャート

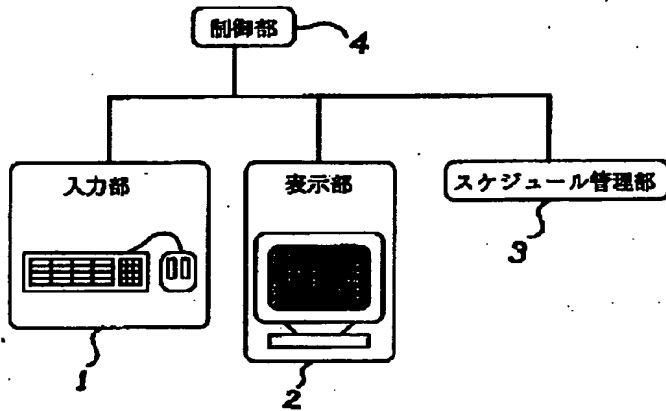
【図8】本発明のスケジュール情報管理システムのスケジュール情報の格納状態図

【符号の説明】

- 1 入力部
2 表示部

- 3 スケジュール管理部
4 制御部

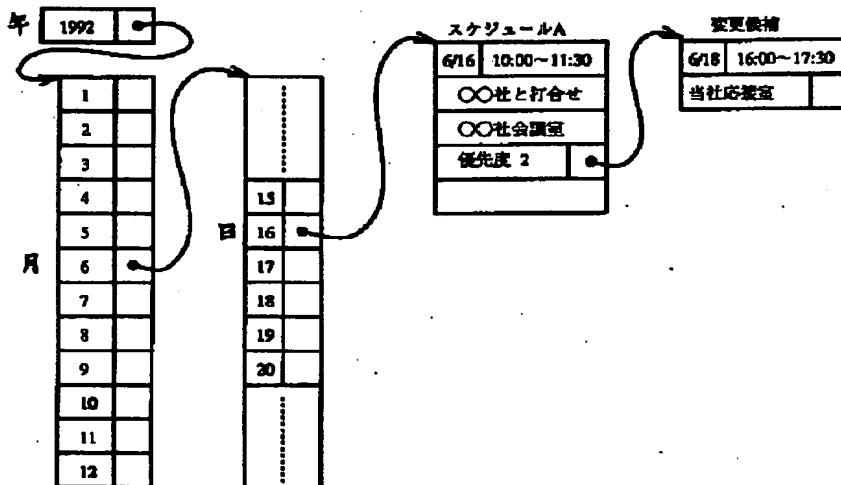
【図1】



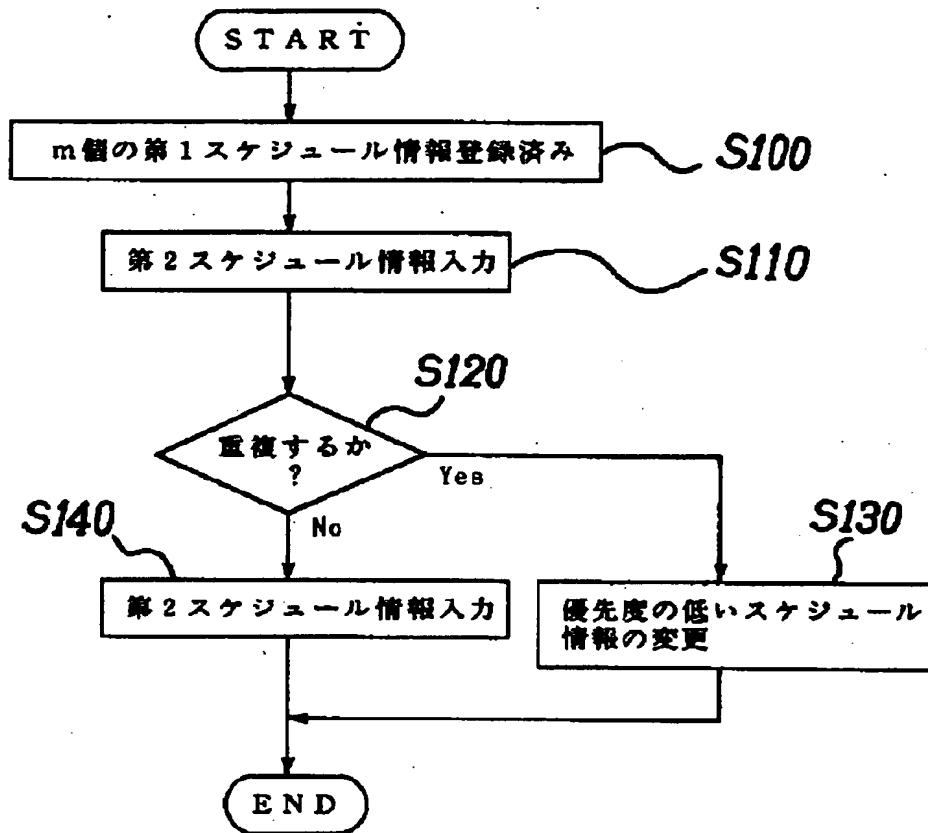
【図2】

Figure 2 is a screenshot of the 'スケジュール入力' (Schedule Input) screen. It includes a '優先度' (Priority) dropdown menu. Below it are input fields for '日時' (Date and Time) in the format '年' (Year), '月' (Month), '日' (Day), and 'から' (From) to 'まで' (To). A large '内容' (Content) text area follows. At the bottom, there is a section for '変更可能日時' (Changeable Date and Time) with four rows, each containing input fields for year, month, day, and time range.

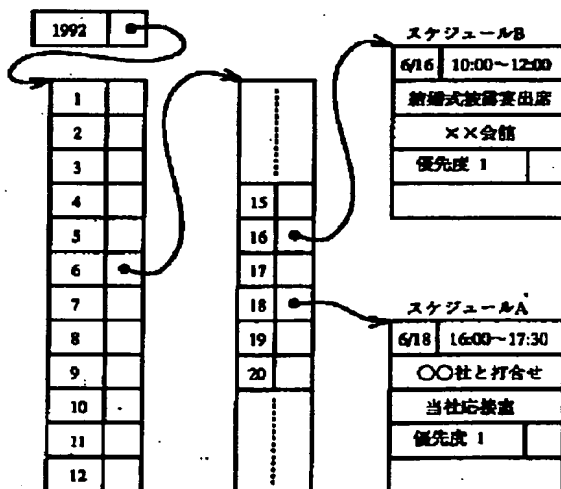
【図3】



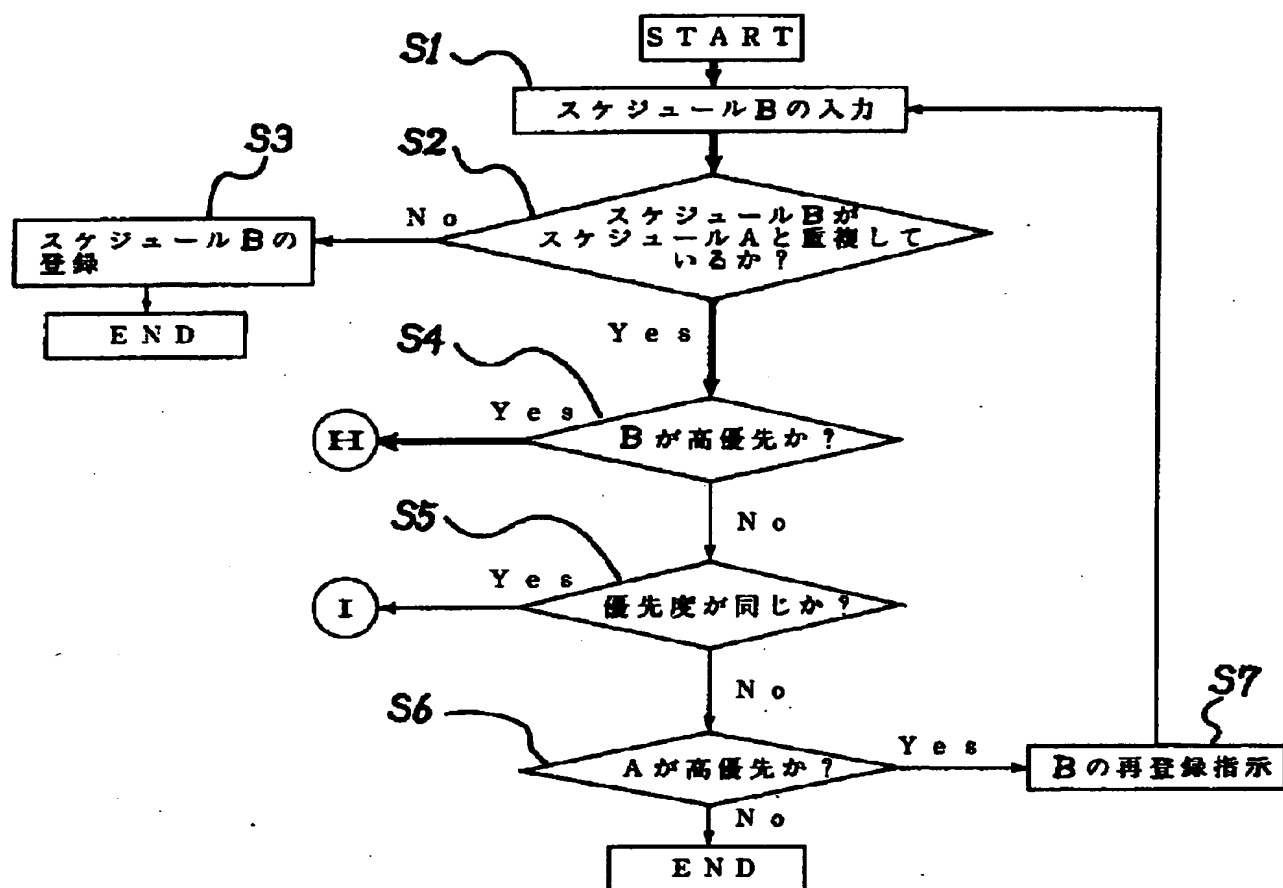
【図4】



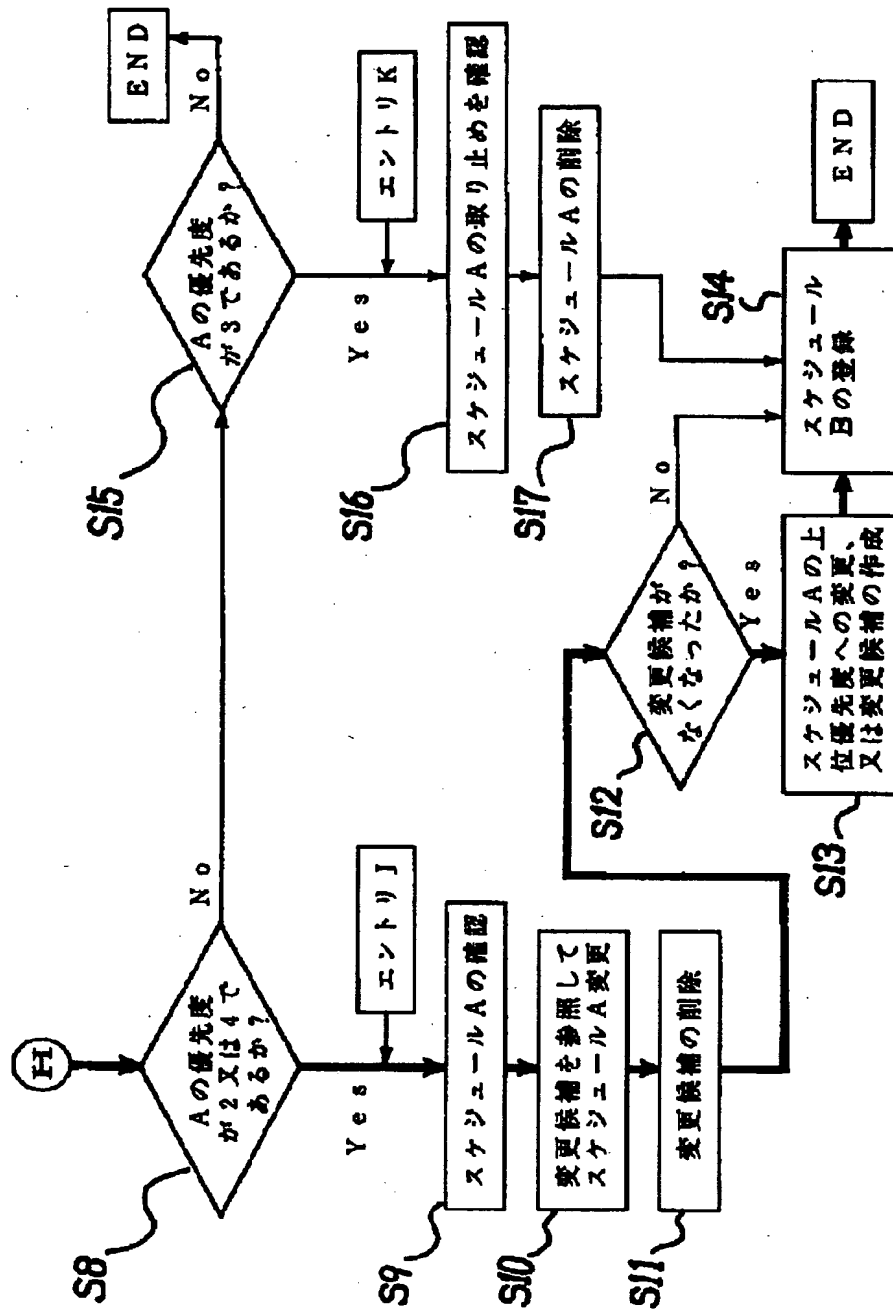
【図8】



【図5】



【図6】



【図7】

